

交換留学の生活（前期）

廖芷萱リョウシセン(台湾・政治大学)

お茶大に来てもう四ヶ月経ちました。前期の留学生生活を月に分けて振り返りたいと思います。四月、来たばかりのときには肌寒くて、一人暮らしの生活も適応しなかったです。初めてお茶大に来たのは指導先生に会うためなのです。そこで同じ先生の指導を受ける韓国人の留学生と知り合って、友だちになりました。オリエンテーションのとき、台湾であまり知らなかった後輩に偶然会って、すぐ親しくなって、嬉しかったです。その後、何人の友たちができて、内気な自分にとって本当によかったと思います。最初の一ヶ月は分からないことがたくさんあって、大変でしたが、新しい生活がとても新鮮だと思いました。



五月に入ると、期待していたゴールデンウィークが来ました。同じく日本に留学している友たちと静岡に行きました。初日から寝不足で疲れましたが、色々なところを回って楽しかったです。そして、学校の着物教室に参加しました。初めてなので、とてもいい経験になりました。五月中旬のとき、

ちょうど高校の時の大親友が東京に修行旅行にきたので、池袋でおいしいラーメン屋さん連れて行ったり、ショッピングしたりしました。週末のとき、留学生の友だちと浅草の三社祭に行きました。初めて日本のまつりを見られて、屋台も色々楽しめて、とても良かったです。月末に、後輩と品川の水族館に行きました。前からずっと日本の水族館に行ってみたいと思っていたので、イルカショーも見られて、本当に嬉しかったです。

六月も色々なところに行きました。まず、国立劇場の歌舞伎鑑賞教室に参加することができて、なかなかない機会なので本当にありがたいと思いました。六月はたくさん食事会がありました。特に韓国人の友だちがよく国の料理に招待してくれて、とてもおいしかったです。月末に、アルバイトの面接をしました。



第一軒目は失敗しましたが、すぐやり直してもう一軒に挑戦しました。おかげさまで、採用されました。最初は緊張していましたが、今は段々慣れてきたと思います。

七月は日本に来てから一番忙しいときだと思います。たくさんの発表があつて、最後の一週間はまた期末試験があります。とはいえ、とても充実していると思います。この間も国際交流の夕べがありましたし、友たちとインド料理と韓国料理のレストランに食べに行きました。そして、靖国神社のみたままつりと隅田川花火大会にも行きました。たくさん発表と試験があるけど、忙しいときこそ、いっぱい楽しむことじゃないかと思います。